

アジアの本人からのメッセージ

◇ 韓国の本人からのメッセージ

*参考動画の紹介

◇ 台湾の本人からのメッセージ

◇ 他の国の本人からのメッセージ

*交流のある日本の本人から会場でお伝えします。



韓国の本人からのメッセージ



■イ・キボムさん（韓国在住、男性、63歳）

こんにちは、私は仁川広域市に住んでいる今年63歳のイ・ギボムです。元々、仁川市で40年近く公務員生活をした後、定年退職しました。

現在、時々、記憶力が曖昧になり、おかしいという感じ、病院に行って検査した結果、多くの脳細胞が死んでいるという診断を受けました。

最初はショックを受けましたが...別に記憶力が少し衰えていること以外は...社会生活には大きな支障もないので、あまり気にしないことにしました。どうせ歳をとれば、人は少しずつ老いていくんだから、楽に考えながら生きよう、そう思えば別に不便なこともないし、もう歳をとったら隣の人が助けてくれることも当たり前だから、当然と思って、楽に生きよう、そう思って生きています。

そして、まあ...薬を飲まなければならないわけでもなく、病院では、まあ...治療方法がないという話もありますが...忘れるのも一つの方法なので、気楽な気持ちで生きていこうと思っています。

友達と...同じような友達もたくさんいるので、お互いに理解し合いながら、そうやって笑って生きていこうと思っています。泣いても治らない病気じゃないですか？

そんなもの...みんな笑って生きましょう。気楽に。

☆翻訳: 明治学院大学 社会学部 社会福祉学科 金 圓景 准教授

■カン・ジュヨンさん（女性、64歳）

こんにちは。私は韓国に住んでいる64歳のカン・ジュヨンです。

私は英語教師として30年間勤務し、2年前にアルツハイマーと診断され、今は認知症克服希望大使として参加しています。周りの人は、認知症があるのにどうやって生きていくのかと言いますが、私はよくできると思い、一生懸命今まで頑張っているんです。

だから、映像を見る多くの人に勇気をもって生きてほしいと思います。

それでは、私と一緒に叫んでみましょう。

I can do it. You can do it. We can do it.

ありがとうございます。

☆翻訳: 明治学院大学 社会学部 社会福祉学科 金 圓景 准教授



参考動画

- ① ソウル市江東認知症安心センターを利用している当事者（一人暮らし、ナム・チョルヨンさん）とその支援に携わっている市民後見人の活動様子
(韓国のケーブルテレビ局「D-Live」放送)



<https://www.youtube.com/watch?v=teh2M-kasqY>

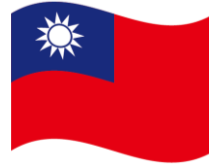
- ② 仁川広域認知症センターの啓発活動（認知症克服デイ）及び当事者の始球式での様子



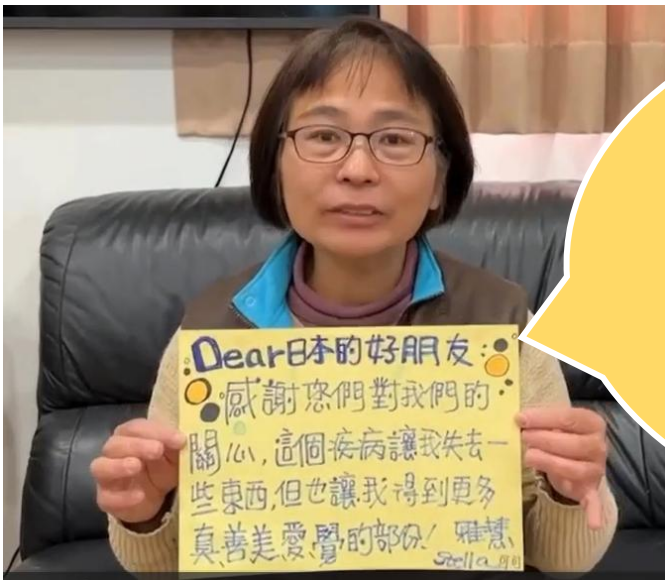
<https://www.youtube.com/watch?v=Rn6rwH3rzYY>

※ ①②ともに、韓国語の動画です。Youtubeの字幕翻訳機能等をご利用ください

台湾の本人からのメッセージ



私たちにはお伝えしたいことがあります！

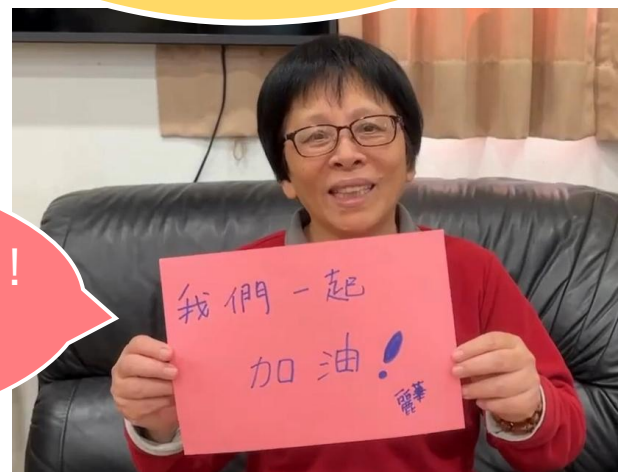


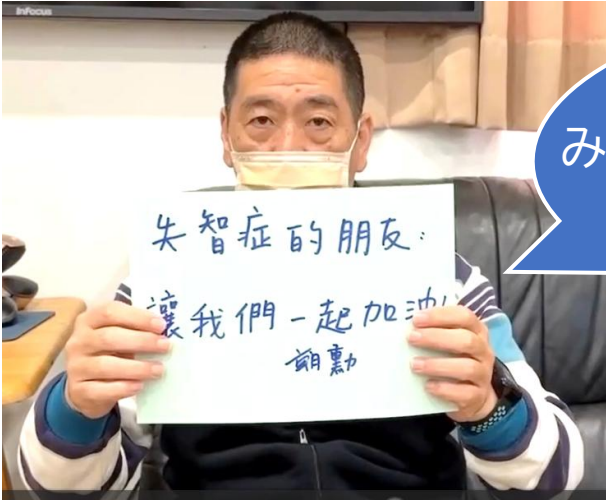
私たちに温かいご関心を寄せてくださり、心から感謝いたします。この病気は私たちからいくつものものを奪いましたが、その一方で、真(まこと)、善(ぜん)、美(び)、そして愛をより深く感じる事ができました。

蔡雅惠

みんなで一緒に頑張りましょう！

蔡麗華

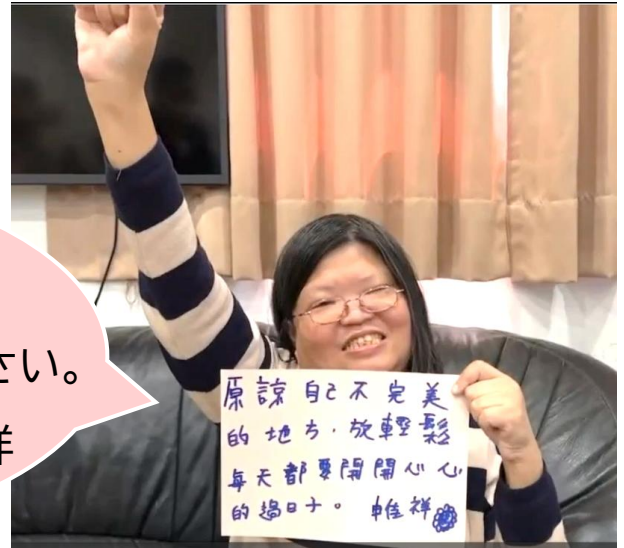




認知症の仲間たち、
みんなで一緒に頑張りましょう！

陳朝勳

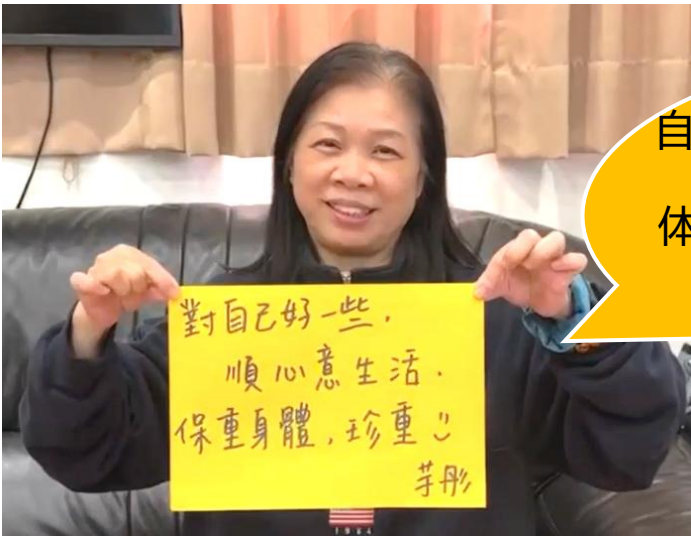
失智症的朋友：
讓我們一起加油！
朝勳



自分の不完全なところを
許して、リラックスしましょう。
毎日を笑顔で楽しく過ごしてください。

申佳祥

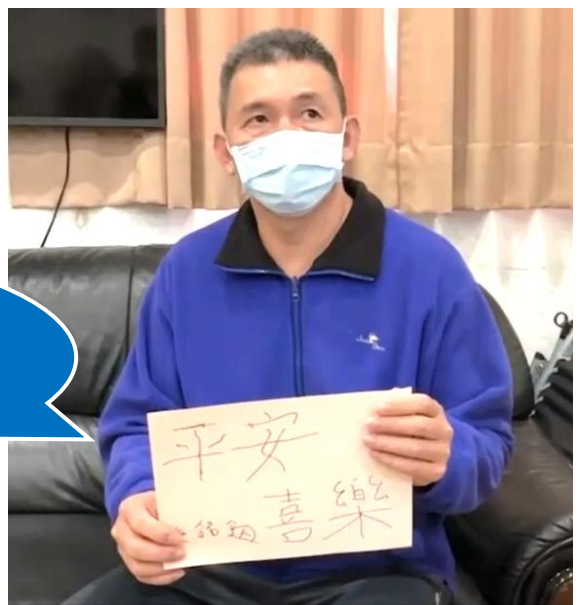
原諒自己不完美的
地方，放鬆鬆
每天都要開開心心
的過日子。 佳祥



自分をもっと大切にしてください。
自分の心に正直に生きて、
体を大事にして、どうかお元気で。

劉芋彤

對自己好一些，
順心意生活。
保重身體，珍重
芋彤



平安と喜びを祈ります。

施銘鈕

平安
銘鈕 喜樂

令和6年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金
「共生社会の推進のための認知症の本人参画に関する国際ネットワーク構築に向けた調査研究」

国内外の認知症当事者がバトンをつなぐ
希望のリレー 国際フォーラム 2025
～認知症当事者の声とチカラ、つながりを活かして、共生社会の推進を～

2025年2月14日

社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター